

施策番号	2104		
施策名	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり		
概要	山間部や市街地をはじめ市内の各地で、民間活力の導入や都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進することにより、歴史や伝統に裏打ちされた地域の資源を生かしたまちづくりを進める。		
担当局・部室	都市計画局・都市企画部	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン，職住共存地区整備ガイドプラン， 新・京都市南部創造まちづくり推進プラン， らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム，京都駅南口周辺地区まちづくり指針		

施策の評価

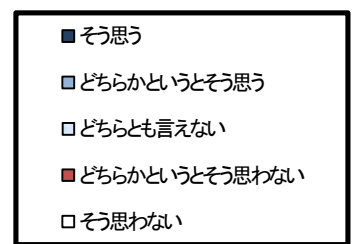
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 地域のまちづくりの取組数(件)	-	-	124	126	4件増	50.0%	c	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 身近な地域が魅力的になっている。	50 9.0%	175 31.5%	223 40.2%	70 12.6%	37 6.7%	555	c	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	c	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数としており、少なくともこれらの地域では地域の個性を生かした魅力的なまちづくりが展開されていると判断されるが、全てのまちづくり活動を捕捉したものではないため、身近な地域が魅力的か否かを全般的に捉えられる市民生活実感調査を優先している。						年度	-
(原因分析) ・職住共存地区(都市部の幹線道路沿いの街区等に囲まれた内部地区), らくなん進都などの地域において都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進したことにより, 地域の魅力向上が図れた。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		22年度決算額	23年度予算額		
1	岡崎地域活性化ビジョンの推進	39,415	59,024	-	総合企画局
2	山ノ内浄水場の跡地利用の検討	21,139	19,762	-	総合企画局
3	向島学生センター運営経費補助	29,474	29,474	良い	都市計画局
4	京都市醍醐駐車場	45,306	44,536	普通	都市計画局
5	京都市醍醐交流会館	61,518	60,791	良い	都市計画局
6	文化施設整備事業(五角形用地)	1,021	511	-	建設局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、各地域において、都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進するとともに、地域住民に身近な区役所とも連携しながら、全市的な取組の展開を図り、個性豊かで魅力的なまちづくりの実現を目指す。

施策名	2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり									
指標名	地域のまちづくりの取組数（件）										
担当課	都市づくり推進課	連絡先	222-3503								
1 指標の説明											
地区計画，建築協定及び景観協定の締結数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標			出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	124	126	2件増	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（今後10年間で155件の締結を達成するため，年平均3.2件以上締結）	50.0%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
前回数値と比較し， a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下		・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお，協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合，地区数が減少することになるが，協定の区域は変わらないため，地区数の減はカウントしない。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>C</td> </tr> </table>				23	-	-	C
		23									
-	-	C									